

令和7年度第1回施策マネジメント診断部会（会議録）

1. 日 時 令和7年7月14日（月） 10：00～11：00
2. 場 所 大野城市役所本館3階 庁議室
3. 出席者 施策マネジメント診断部会委員および市職員等 13名

【内訳】

施策マネジメント診断 部会委員 (団体推薦委員：5名)	日永田 圭子、高崎 多津子、吉次 康雄 高木 保子、井上 研太郎	
市職員 (7名)	辻総合政策部長	
	経営戦略課	的野課長、副島係長、 武田、樋口
	デジタル推進課	原課長
	財政課	千葉課長
株式会社日本政策総研	佐々木 央	

4. 議事概要（司会進行：武田）

（1）開会

（2）委嘱状交付

◆辻総合政策部長より委嘱状を交付

（3）施策マネジメント診断部会委員 自己紹介

◆委員名簿は資料2のとおり

（4）部会長及び副部会長選任

◆部会長 → 公共サービス改革委員会 嶋田委員長に決定

◆副部会長 → 辻総合政策部長に決定

（5）施策マネジメント診断に関する説明

◆資料3－1、3－2に沿って説明（説明：副島係長）

◆主な意見 別紙のとおり

（6）事務連絡

◆スケジュールについて資料3－3に沿って説明（説明：武田）

（7）閉会

◆あいさつ（的野経営戦略課長）

《質問・意見》

(1) 施策マネジメント診断に関する説明

施策マネジメント診断診断の視点について	
1	診断の視点として、コストパフォーマンスという視点があるが、大野城市にも多くの事業者があり、費用がかかっているにも関わらず参加する事業者が少ないという事業もあると思う。まずは参加してもらう事業者を増やすような努力をするなど、そういった視点でも話をしていきたい。(吉次委員) 事業が広がっていかないという問題については、そもそもその事業自体が事業者にとって効果的なものになっているかなど様々な要因があると思う。その辺りの問題も踏まえてご意見をいただきたい。 コストパフォーマンスが悪化しているから事業を即廃止しますという話ではなく、まずは事業の改善に向けて手を打つべきところがあれば、手を打ってくださいという話になると思う。(経営戦略課)